



平成24年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月30日

上場会社名 株式会社サガミチェーン 上場取引所 東・名
 コード番号 9900 URL <http://www.sagami.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 敏行
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大西 尚真 (TEL) 052-771-2126
 管理本部担当
 四半期報告書提出予定日 平成23年12月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年1月期第3四半期の連結業績(平成23年1月21日～平成23年10月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年1月期第3四半期	14,492	△3.1	△30	—	△29	—	△361	—
23年1月期第3四半期	14,950	△10.6	△340	—	△313	—	△1,090	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年1月期第3四半期	△14.83	—
23年1月期第3四半期	△44.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年1月期第3四半期	15,277	9,688	63.3	396.70
23年1月期	16,092	10,152	63.0	415.74

(参考) 自己資本 24年1月期第3四半期 9,672百万円 23年1月期 10,137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年1月期	—	0.00	—		
24年1月期(予想)				0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年1月期の連結業績予想(平成23年1月21日～平成24年1月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,750	△1.9	10	—	0	—	△300	—	△12.30

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 ()、除外 一社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年1月期3Q	24,972,784株	23年1月期	24,972,784株
② 期末自己株式数	590,449株	23年1月期	589,660株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	24,382,819株	23年1月期3Q	24,385,118株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
【第3四半期連結会計期間】	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により社会活動及び経済活動が甚大な影響を受けて消費活動が一時的に大きく落ち込んだ後、供給網の復旧や生産活動の回復が見られる一方で、欧州財政金融システム不安や海外景気の下振れ懸念、歴史的な円高の長期化等により景気動向は不透明さを増しております。

外食産業におきましても、原発事故の影響や牛肉での食中毒等による消費者の食に対する安全意識のより一層の高まりや節約志向、低価格志向は未だ継続しており、経営環境は依然として厳しい状態が続いております。

このような環境のもと、当社グループは「お客様基点の視座」に立ち帰り、100万人アンケートの実施や販売促進企画の内容の見直し、また店長のやる気を最大限引き出す成果主義施策として「お客様賞」を導入しました。更に、「効率経営」「経費削減」に取り組み、FLR（食材費・人件費・地代家賃）コストの削減に重点を置き利益体質の確立に注力いたしました。

主力の和食麺類部門では、消費動向の変化に対処すべくお客様のご意見を取り入れた少量・多品種のメニューの導入やテレビCMの放映に加え、「春蒔きそば 初そば」「秋の味覚 松茸」「秋の新そば」等の料理フェアを実施したほか、販売促進企画として「夏の大感謝祭」「株式会社20周年 大感謝祭」等を実施いたしました。チラシを抑制した為に既存店客数が前年同期比1.6%減となりましたが、これらの取り組みにより客単価は0.4%減、既存店売上高は前年同期比2.0%減に留まりました。店舗関係では、業態転換のため1店舗（櫃原店）を閉鎖いたしました。

セルフサービス方式のどんどん庵部門におきましては、全店販売促進企画「どんどん祭り」を2回、「秋の大感謝祭」を実施し、また料理フェアとして「茶そばフェア」「涼味うどんフェア」等を開催いたしました。店舗関係では、業態転換を1店舗（金山店）、閉店を7店舗（一宮千秋店、尾張旭西店他）、直営店舗からF C店舗への変更を5店舗（旭前店、大磯通店他）、F C店舗から直営店へ変更を1店舗（味鉢店）行いました。

その他部門におきましては、中国上海市で展開する盛賀美1店舗（静安店）、フランチャイジーの丸源ラーメン1店舗（櫃原店）を開店し、和風スイーツ業態たい夢を1店舗移設いたしました。

また、8月31日付で連結子会社の株式会社ボンパナの全株式を売却いたしました。これにより、株式会社ボンパナは、連結子会社から除外されております。さらに9月21日付で製麺大学業態、フランチャイジー業態を連結子会社の株式会社ディーディーエーに事業移管いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高14,492百万円（前年同期比3.1%減）となりました。継続的な経費削減活動で売上原価を358百万円、販売費及び一般管理費を408百万円削減したこと等により、営業損失は30百万円（前年同期は340百万円の営業損失）、経常損失は29百万円（前年同期は313百万円の経常損失）と前年同期比で大幅に改善することができました。また、減損損失388百万円、固定資産除却損15百万円など特別損失410百万円の発生等により361百万円の四半期純損失（前年同期は1,090百万円の四半期純損失）となりましたが、これも前年同期比で大幅な改善となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(財政状態)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、15,277百万円と前連結会計年度末比815百万円の減少となりました。流動資産は前連結会計年度末比212百万円増加し3,291百万円、固定資産は1,027百万円減少し11,985百万円、流動負債は前連結会計年度末比63百万円減少し2,837百万円、固定負債は287百万円減少し2,751百万円、純資産は463百万円減少し9,688百万円となりました。

(キャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて96百万円増加し、2,710百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は141百万円となりました。収入の主な内訳は減損損失が388百万円、減価償却費が332百万円であり、支出の主な内訳は税金等調整前四半期純損失が294百万円、法人税等の支払額が120百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は113百万円となりました。収入の主な内訳は連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入が149百万円、定期預金の払戻による収入が50百万円であり、支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出が124百万円、店舗撤去による支出が13百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は153百万円となりました。支出の主な内訳は長期借入金の返済による支出が389百万円、短期借入金の純減額が20百万円であり、収入の主な内訳は長期借入れによる収入が270百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予測につきましては、平成23年3月2日に公表した業績予測に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

- ・ 固定資産の減価償却費の算定方法

連結子会社においては、定率法を採用している資産について、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」、当第3四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年10月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年1月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,800,788	2,434,062
受取手形及び売掛金	70,560	74,381
有価証券	50,118	220,597
商品及び製品	71,921	68,953
原材料及び貯蔵品	147,888	154,695
その他	150,422	126,194
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	3,291,690	3,078,876
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,196,654	2,675,682
機械装置及び運搬具(純額)	167,924	239,178
土地	6,269,509	6,376,902
その他(純額)	91,844	118,277
有形固定資産合計	8,725,932	9,410,040
無形固定資産	157,290	172,616
投資その他の資産		
投資有価証券	1,004,937	1,102,943
差入保証金	1,678,745	1,751,316
その他	427,540	585,431
貸倒引当金	△8,450	△8,450
投資その他の資産合計	3,102,773	3,431,241
固定資産合計	11,985,996	13,013,898
資産合計	15,277,686	16,092,774
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	450,873	575,138
短期借入金	410,000	430,000
1年内返済予定の長期借入金	566,100	522,540
未払金	943,964	943,620
未払法人税等	66,539	107,154
賞与引当金	94,053	25,201
店舗閉鎖損失引当金	7,160	17,609
その他	299,210	280,409
流動負債合計	2,837,902	2,901,674
固定負債		
長期借入金	2,090,640	2,322,355
長期未払金	155,059	192,036

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年10月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年1月20日)
退職給付引当金	6,994	8,205
資産除去債務	328,568	330,144
その他	170,009	186,204
固定負債合計	2,751,271	3,038,946
負債合計	5,589,173	5,940,620
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,303,521	6,303,521
資本剰余金	7,256,905	7,256,905
利益剰余金	△3,105,851	△2,744,323
自己株式	△566,811	△566,429
株主資本合計	9,887,764	10,249,673
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△177,633	△79,228
為替換算調整勘定	△37,756	△33,300
評価・換算差額等合計	△215,390	△112,529
少数株主持分	16,138	15,009
純資産合計	9,688,513	10,152,153
負債純資産合計	15,277,686	16,092,774

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月21日 至平成23年10月20日)
売上高	14,950,700	14,492,210
売上原価	4,742,287	4,383,318
売上総利益	10,208,412	10,108,892
販売費及び一般管理費	10,548,704	10,139,792
営業損失(△)	△340,291	△30,900
営業外収益		
受取利息	8,685	6,710
受取配当金	13,968	14,228
受取保険金	11,430	5,954
助成金収入	19,634	—
雑収入	26,735	15,186
営業外収益合計	80,454	42,080
営業外費用		
支払利息	31,141	36,959
雑損失	22,099	3,530
営業外費用合計	53,241	40,489
経常損失(△)	△313,079	△29,310
特別利益		
固定資産売却益	7,502	3,681
子会社株式売却益	—	127,838
貸倒引当金戻入額	26,871	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	43,767	—
事業譲渡益	16,190	—
受取保険金	15,353	—
受取和解金	—	14,538
その他	3,173	—
特別利益合計	112,858	146,058
特別損失		
固定資産売却損	5,969	—
固定資産除却損	25,217	15,282
減損損失	469,662	388,813
店舗閉鎖損失	28,118	4,777
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	268,532	—
保険解約損	—	2,057
その他	1,226	—
特別損失合計	798,727	410,931
税金等調整前四半期純損失(△)	△998,948	△294,183
法人税、住民税及び事業税	68,125	68,808
法人税等調整額	22,263	△2,907
法人税等合計	90,388	65,900

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月21日 至平成23年10月20日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△360,083
少数株主利益	1,084	1,443
四半期純損失(△)	△1,090,421	△361,527

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月21日 至平成22年10月20日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月21日 至平成23年10月20日)
売上高	5,323,841	4,961,489
売上原価	1,674,438	1,482,366
売上総利益	3,649,402	3,479,123
販売費及び一般管理費	3,630,506	3,396,304
営業利益	18,895	82,819
営業外収益		
受取利息	2,379	3,395
受取配当金	262	262
受取保険金	1,777	2,270
助成金収入	749	—
雑収入	5,620	6,334
営業外収益合計	10,788	12,263
営業外費用		
支払利息	12,705	11,994
雑損失	4,869	424
営業外費用合計	17,574	12,418
経常利益	12,109	82,664
特別利益		
固定資産売却益	1,022	3,214
子会社株式売却益	—	127,838
店舗閉鎖損失引当金戻入額	4,161	—
受取保険金	6,353	—
その他	2,984	—
特別利益合計	14,523	131,052
特別損失		
固定資産除却損	2,363	2,129
減損損失	95,828	177,725
店舗閉鎖損失	12,049	—
その他	137	—
特別損失合計	110,379	179,854
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△83,747	33,862
法人税、住民税及び事業税	22,118	23,716
法人税等調整額	3,038	△1,254
法人税等合計	25,156	22,461
少数株主損益調整前四半期純利益	—	11,401
少数株主利益	690	1,031
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△109,594	10,369

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月21日 至平成23年10月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△998,948	△294,183
減価償却費	387,754	332,935
減損損失	469,662	388,813
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	268,532	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△24,583	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	57,033	69,487
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△43,767	—
受取利息及び受取配当金	△22,653	△20,939
支払利息	31,141	36,959
固定資産売却損益(△は益)	△1,532	△3,681
固定資産除却損	25,217	15,282
子会社株式売却損益(△は益)	—	△127,838
売上債権の増減額(△は増加)	16,272	1,160
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,765	△1,785
仕入債務の増減額(△は減少)	△135,111	△114,981
未払金の増減額(△は減少)	△181,376	△62,431
その他	△14,517	65,246
小計	△164,110	284,045
役員退職慰労金の支払額	△51,910	△3,700
利息及び配当金の受取額	20,291	18,560
利息の支払額	△31,880	△36,787
法人税等の支払額	△125,927	△120,813
営業活動によるキャッシュ・フロー	△353,537	141,303
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	50,000
有価証券の償還による収入	200,000	—
有価証券の売却による収入	50,250	—
有形固定資産の取得による支出	△646,942	△124,563
有形固定資産の売却による収入	12,321	3,681
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	231	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	149,599
差入保証金の差入による支出	△37,960	△7,676
差入保証金の回収による収入	73,655	31,607
店舗撤去による支出	△202,648	△13,058
その他	19,051	23,611
投資活動によるキャッシュ・フロー	△532,042	113,200

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月21日 至平成23年10月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	30,000	△20,000
長期借入れによる収入	2,150,000	270,000
長期借入金の返済による支出	△369,520	△389,821
社債の償還による支出	△1,000,000	—
自己株式の取得による支出	△904	△381
リース債務の返済による支出	△10,711	△13,376
財務活動によるキャッシュ・フロー	798,863	△153,578
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,612	△4,674
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△101,329	96,250
現金及び現金同等物の期首残高	2,633,132	2,614,659
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,531,803	2,710,910

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月21日 至 平成22年10月20日)

当社グループは、外食事業を主要な事業内容としており、外食事業の売上高、営業利益の金額は全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

(所在地別セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月21日 至 平成22年10月20日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

(海外売上高)

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月21日 至 平成22年10月20日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。